2019年6月16（日）			
差枚	+2606枚、+508玉	RANK	A

実戦機種

パチスロ蒼天の拳 朋友、麻雀格闘倶楽部2、
押忍！番長3、PF蒼穹のファフナー2

実戦レポート

今回のホールは、初めて行った日からいきなり2連続でS級をゲットし、本日が3戦目となる。これまでの2回は単なるラッキーパンチだったのか、それともお店のやる気とオレの立ち回りがガッチリ噛み合ったのか、いずれにせよ期待が高まるのは間違いない！

だが、過去2回の店内状況は客観的にも上出来だったようで、期待が高まっていたのは他のお客さんも同じ。朝からかなりの人数が来店し、人気機種はほぼ満席の中、例によって最後尾近くからスタートのオレは、さて何から打ち始めようかね…。

やはり全台系を意識しつつ、あわよくばそこに紛れ込む単体の高設定も意識していく形かな。実際、前回の番長3はそんな感じだったし。というわけで、先客たちが避けた不人気機種の中から得意の「パチスロ蒼天の拳 朋友」を選び、小役確率とボーナス中のセリフ・背景で設定推測を進める。まずは1台目…うーん、高設定の可能性はあるけど、微妙。では2台目を…うーん、こっちの方がダメだ。奇数設定＆中間設定以下が濃厚。この分かりやすさが蒼天の魅力だ。しかしこの2台目が連チャンに恵まれ、ATがエンディングまで伸びて即ヤメという、ある意味最高の展開。とりあえず1000枚以上のリードは貰えたが、時刻はまだ昼過ぎ。油断はできない。

続いて目を付けたのはバラエティコーナー。まだ可能性が残っている中から選んだのは「麻雀格闘倶楽部2」だ。こちらは蒼天と違って設定推測はそれなりに時間がかかる部類なので、少しでもダメそうだったら早めの撤退もあるかな…。と思いきや、早めに当たって上乗せも好調で、特化ゾーン抽選や終了画面の設定推測要素がそこそこ集まるという。…うん、高設定っぽくないな！　1000枚ちょいを流して、またもプラスを増やしつつ次の台へ。

すでに全台高設定のシマは候補が絞られる中、残った数少ないチャンスを拾うべく選んだ機種は…「押忍！番長3」。やはり前回、全台シマではないながらも高設定っぽい台がいくつか確認でき、設置台数もかなり多いため、未だメイン機種の扱いなのだろうという判断だ。ただ、ご存知の通りこの機種も、設定差のある部分を確認できるまでにけっこう時間がかかるんだよな…。結果から言うと、こちらも比較的すぐ当たって、連チャンに恵まれて、「ループが多いから高設定か!?」とか言いながら、決め手にかけるので1000枚流してプラス。今日はこんなのばっかりだな！　最後は、企画上初となるパチンコの実戦にシフトし、「PF蒼穹のファフナー2」の優秀台でまたもプラスを増やして終了。一応A級としたけど、ヒキに恵まれた勝利だったな。